

2024年の夏休み★ 子ども映画館

KIDS★CINEMA

映画の上映とお話 + 映写室訪問
(じゃんけん勝ち残りの方のみ)

7月26日金 | 27日土 | 8月2日金 | 3日土 14時00分スタート!
(13時30分開場)

国立映画アーカイブ

小ホール(地下1階) 定員:各回151名(全席自由)

料金(当日お支払い)

中学生以下	無料
一般	520円

高校・大学生・65歳以上	310円
--------------	------

*当日、証明できるものを必ずご提示ください。

申込
方法

参加は事前申込制です

[申込フォームのみ]

7月5日[金] 16時より受付開始

国立映画アーカイブホームページ内の子ども映画館申込フォームよりお申込ください。受付票の送付をもって受付完了となります。各回、定員に達し次第締めきります。

www.nfaj.go.jp/learn/kids/

内容に関してのお問い合わせ:電話番号03-3561-0823

参加をご希望の皆さまへ

- ★子ども(中学生以下)の引率・付添ではない高校生以上の方のお申込はお断りしております。
- ★観覧券の発券・入場は、開映の30分前から、受付票の受付番号順に行います。受付票の提示がない場合はご入場いただけませんのでご注意ください。
- ★障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)は無料です。証明できるものをご提示ください。
- ★お申込時にご入力いただいた個人情報は、「子ども映画館」に関するご案内のみに利用し、第三者への提供は行いません。
- ★ご参加の方は、終了後に展示室を無料でご覧いただけます。
- ★7月26日、8月3日は広報動画の撮影を行う予定です。



国立映画アーカイブ
National Film Archive of Japan

デザイン:TAICHI ABE DESIGN INC. イラスト:織田たてり

みんなで一緒に、大きなスクリーンで映画を観よう!!

7月26日 金
14:00-15:30

みんなでやってみよう



『ペンギンぼうや ルルとキキ』

アニメーションの表現 —素材と音楽—

日本の代表的なアニメーション作家と作曲家によるさまざまなアニメーションの表現を楽しもう! ミュージカル調のセルアニメーションから、人形アニメーション、色彩と図形のリズムを味わう実験的な作品もあるよ。

『四十人の盗賊(改題再編集版)』(1952年)
日本/監督:大藤信郎、音楽:紙恭輔/10分/白黒

『ペンギンぼうや ルルとキキ』(1958年)
日本/監督:持永只仁、音楽:林光/16分/白黒

『月夜とめがね』(1966年)
日本/監督:島村達雄、音楽:一柳慧/8分/カラー

『みにくいあひるの子』(1968年)
日本/監督:渡辺和彦、音楽:斎藤高順/20分/カラー

企画展「日本映画と音楽 1950年代から1960年代の作曲家たち」とあわせてお楽しみください。

7月27日 土
14:00-15:45



『ぼくらの七日間戦争』※カラー作品です

インチキな大人の いいなりにはならないよ!

監督は菅原比呂志。原作小説は今年4月に亡くなった宗田理の作品で、発売から39年が経った今もアニメ映画や舞台化されているベストセラー。本篇では先生や親など大人への反発と自立へと歩き出す中学生の姿が生生きと描かれています。

『ぼくらの七日間戦争』(1988年)

日本/監督:菅原比呂志/94分/カラー
厳しい規律の中学校で、校則に反発して廃工場に立てこもった生徒を先生や親たちは連れ戻そうとするが、生徒たちは奇想天外なはずりで迎え撃つ! さてこの勝負、どちらが勝つか?

8月2日 金
14:00-15:40

活弁と演奏



『トルブナヤ通りの家』

働くてなに? 大都会を舞台にした お仕事コメディ。

大都会にやってきた19歳のパラニーは、家政婦として目も回るような大忙しの日々。ある日、誘われて労働組合に入ったことで、雇い主から嫌がらせされてしまう。現代社会をユーモアたっぷり、軽快に風刺したサイレント映画を、活弁・演奏付きでお楽しみください。

『トルブナヤ通りの家』(1928年)

ソ連/監督:ボリス・バルネット/87分/白黒/原題:Дом на Трубной

パラニーはおじさんに会うため街にやってきた。だけど、おじさんはどこにもなくて、住む家もない。車や路面電車がびゅんびゅん走る大都会で、ひとりぼっちの大ピンチ。

8月3日 土
14:00-16:10

活弁と演奏



『幌馬車』

アメリカ西部の大自然と 西部劇ならではの アクションを楽しもう!

新天地をもとめて、幌馬車でアメリカの大地を進む人々。地平線の彼方まで伸びる隊列に驚かされるアメリカ西部劇の超大作。恋愛あり、友情あり、アクションありの西部劇の王道を活弁・演奏付きでお送りします。

『幌馬車』(1923年)

アメリカ/監督:ジェームズ・クルーズ/99分/白黒/原題:The Covered Wagon

新天地を目指して、馬や牛と一緒に長い旅をする人々。仲間割れや灼熱の砂漠など一難去ってまた一難の旅。しかも、目の前には大きな川が! 馬や牛と一緒にどうやって渡ろう?

※各プログラムの終了時刻は目安です。
※8月3日の作品は英語字幕ですが、弁士の説明でお楽しみいただけます。

8月2日、3日は活弁・演奏付きで映画が観られるよ



山内葉々子(活動写真弁士) [2日]

栃木県出身。2010年澤登翠に入門。2013年「第659回無声映画鑑賞会」で弁士デビュー後、無声映画鑑賞会をはじめ、地元の「那須温泉映画祭」など出演多数。2021年度には集英社少女漫画アプリ「マンガMee」にて連載された『RAY-麗-大正キネマ物語』(作:ナスノ マユカ)の監修協力を務めた。



尾田直彪(活動写真弁士) [3日]

2000年、熊本県生まれ。澤登翠の活弁に魅了され、弁士を志す。2021年10月、都内で60年以上続く上映会「無声映画鑑賞会」でデビュー。以降、同会や「カツン映画祭」等の都内上映会、地元九州での公演にも出演。現在唯一の20代・最も若い活動弁士として活躍している。澤登翠門下。



丹原要(電子ピアノ) [2日]

ピアノ/リトミックの指導を行う傍ら、「ことば・身体運動・音楽」が融合した舞台を作るべく活動を続けている。初めて伴奏した無声映画は「幕間」。無声映画の世界で徐々に活動の幅を広げている。リトミックの創始者であるダルクローズの作品を研究し、共著した楽譜がカイワ出版より発刊されている。



坂本真理(シンセサイザー) [3日]

国立音楽大学教育音楽学科リトミック専攻卒業。東京・国分寺市むらさき幼稚園園長を経て、2016年「むらさきmusicラボ」を設立。同年「月世界旅行」をシンセサイザー弾き語りにて無声映画デビュー。パーカッション演奏や楽器づくり講座、書物の監修にも携わっている。

活弁とは?

無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人気が左右されるほど大切な役割を担っていました。



保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「こども映画館」は、中学生以下を対象とした国立映画アーカイブの映画イベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

- ★映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。
 - ★テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画【フィルム】を楽しむ機会を提供する。
 - ★優れた映画作品の鑑賞を通して、豊かな情操と高い映像理解能力【リテラシー】を育む。
- 映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する——かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日の子どもたちにも味わってほしいと思います。

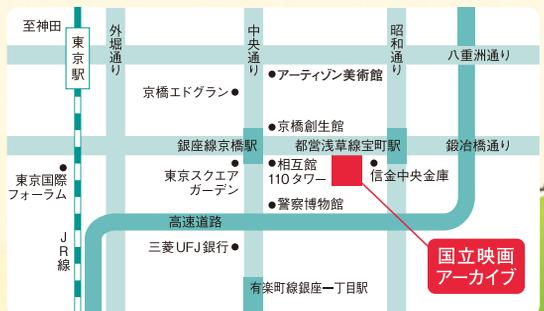
上映後企画「みんなでやってみよう」開催!

7月26日「感想を話し合ってみよう」

8月3日「弁士をしてみよう」

ふなのかわ
舟之川聖子

鑑賞対話ファシリテーター。映画、本、舞台、展覧会など、作品鑑賞を通じた学びの場の企画やコーディネーションを担う。ワークショップ「映画を観て語り合う時間のススメ」(金沢21世紀美術館, 2021年)他多数。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

- 交通: ●東京メトロ銀座線京橋駅、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄浅草線宝町駅、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅、出口7より徒歩5分
- JR東京駅、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル050-5541-8600
NFAホームページ: www.nfaj.go.jp

Connecting Children with Museums program is supported by the Adobe Foundation.

長瀬映像文化財団
国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。